

# 新型コロナウイルス蔓延を防ぐための東北大学の対応

「ニューノーマル」を先導する東北大学へ

学生、教職員の皆さん

宮城県に対する緊急事態宣言が解除されたことを踏まえて、本学の行動指針（BCP）をレベル3としました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の脅威が去るまでは、今後どのレベルとなっても、本学のあらゆる活動は、厳格な感染症拡大防止策を講じた上でなされなければなりません。このようなニューノーマル（新しい日常）においては、私たち一人一人の意識が重要です。引き続き、皆さんの協力と責任ある行動をお願いします。

どのような外的環境でも、日本を代表する研究大学として、「知」の力により教育、研究、社会との共創を力強く発展させていく東北大学の使命は変わりません。社会が数々の困難に直面しているいまこそ、私たちの新たな取り組みが求められていると言えましょう。

学生諸君においては、自らの行動が社会に大きな影響を与えることを、これまで以上に強く意識しているのではないのでしょうか。このような制約がある新たな日常にあっても、是非前向きにさまざまな取り組みに挑戦してください。

東北大学は、オンライン授業や緊急学生支援パッケージの提供をはじめとして、皆さんの学びを徹底的に支援していきます。皆さんが、この新たな日常の中で、さらに大きく成長することを確信しています。

今後、東北大学は、ポストコロナ時代を見据え、社会の変革を先導する取り組みを進めていきます。

その一つは、サイバー空間を活用した大学の諸活動の拡張です。授業、研究開発、国際連携、入試、社会との共創、さらには業務全般のオンライン化は、これまでにない新たな展開をもたらします。現実と仮想空間の融合によって、ボーダレスで多様性に富み、インクルーシブな大学の未来を皆さんと共に創っていきたいと考えています。

私たちは「東北大学ビジョン2030」の策定にあたって、「最先端の創造、大変革への挑戦」を掲げました。

今回の事態を契機に、感染症拡大防止への万全の対策を講じつつ、変革に挑戦して本学の活動を飛躍的に発展させ、社会にそして世界に貢献していきましょう。

令和2年5月18日

東北大学総長 大野 英男